

第3回「倉敷みらい講座」 『人形劇で豊かな情操を育む』

人形劇は、子どもからお年寄りまで、多くの人々が親しみ楽しむ文化芸術です。鑑賞・制作・劇遊びなど、関わり方は様々ですが、質の高い人形劇に触れることは、その人の情操を豊かに育む効果があると考えられています。くらしき作陽大学は、とらまる人形劇団(倉敷市連島中央)と連携し、人形劇を通じた社会貢献活動を展開中です。今回の講座では、第1に「乳幼児のアートスタートにおける人形劇の有用性」、第2に「人形劇の制作と公演を通じた大学生の学びと育ち」について発表します。

日時

2015年1月24日(土)
13:00~14:30
(受付開始12:30~)

会場

(定員150名様 参加無料)

くらしき作陽大学
1号館 1階 125教室
〒710-0292 倉敷市玉島長尾3515

プログラム

- 13:00 I 開会の挨拶
高橋 香代 (くらしき作陽大学子ども教育学部学部長)
- 13:05 II 講演「乳幼児のアートスタートにおける人形劇の有用性」
浅野 泰昌 (くらしき作陽大学子ども教育学部講師)
- 13:30 III 人形劇『たまごにいちゃん』
くらしき作陽大学子ども教育学部附属
児童文化部ぱれっと
- 14:00 IV 報告「人形劇の制作と公演を通じた大学生の学びと育ち」
在学生と卒業生
- 14:15 V 質疑応答
- 14:25 VI 閉会の挨拶
衣斐 美和子 (とらまる人形劇研究所代表理事)



くらしき作陽大学



倉敷芸術科学大学

KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS